

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社アパレル福屋

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件及び職場環境において、差別しない体制・運営を徹底している。 ・2022年4月において、外国人1名を雇用している。 ・【予定】2022年12月までに障害者2名を雇用する。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3					16.1 16.2 16.7			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)に基づいて職場環境の改善を図り、衛生的で安全な労働環境の整備に取り組んでいる。 ・職場環境改善の人材育成を行うため、中小企業大学校の講習会に幹部社員を参加させている。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員の雇用形態に関わらず、公正な待遇を行い、同一労働同一賃金の原則に沿って対応している。					5.5			8.5	10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・週1回ノー残業デーを実施、プライベートの充実、育児、家事への積極的参画を奨励している。 ・残業時間の短縮、業務効率化による労働時間の短縮など働き方改革への取組み、有給休暇などの取得奨励を実施している。			3		5.5			8.5 8.8	10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・年間の外部研修計画を策定、職種や社歴に応じた研修を受ける環境を整備し、社員の能力向上、職場環境の改善に取り組んでいる。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・従業員の心身ともに健康を維持できるよう、業務外で釣り同好会、ゴルフ同好会のサークル活動を支援している。 ・健康診断、インフルエンザ予防接種を、会社経費で負担している。			3					8							17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・現在60歳超の社員を2名雇用しており、今後も継続して雇用する予定である。(うち1名は70歳超) ・2022年4月において、外国人1名を雇用している。 ・【予定】2022年12月までに障害者2名を雇用する。				4.4	5.1 5.5				8.5	10.2 10.3					16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・メーカーとの勉強会や打ち合わせ、また採用面接において、ウェブ会議を導入している。 ・会議室や執務室の窓開けを徹底している。			3						8	9.1	11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・社内通達の周知や情報共有の手段として、LINE WORKSを利用している。 ・営業にタブレットを配布して、デジタルカタログを活用している。									8	9.1	11	12					
21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●					3	4				8	9			12						

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社アパレル福屋

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・BRINGプロジェクト等、使用済の制服回収リサイクルシステムに賛同し、自社のユーザーへも参画を促進し、廃棄物の削減に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・2021年9月に移転した新社屋では、すべての照明にLEDを使用している。 【予定】2023年1月使用分から簡易計算シートを使用してエネルギー使用量の見える化に取り組む。								7.3						13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・①冷暖房設定温度のこまめな調節、②クールビズの実施(5月～10月)、③リモート会議活用による移動距離の短縮等の施策を実施して、CO2排出の抑制に取り組んでいる。 【予定】2023年1月使用分から簡易計算シートを使用してCO2排出量の見える化に取り組む。			2.4											12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・廃棄される繊維くずを使用した商品や、植物由来のポリエステルなど、環境に配慮した商品の販売を通じて、生物多様性の保全に努めている。							6.6									14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・社内で使用する資料の削減など、ペーパーレス化に取り組んでいる。また、環境に配慮した商品の販売や、リサイクル回収システムの促進に取り組んでいる。										9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・「節水」や「汚水等の適切な処理」等実施している。 ・本社及びランドリー工場の毎月の使用量を確認して、節水に努めている。			2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5				14.1 14.2 14.3	15			17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・コピー機のトナーにリサイクル品を使用している。 ・トイレーパーバーやペーパータオルに再生紙100%の製品を使用している。												9.4		12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・流通団地組合の緑化推進に賛同して、地域の緑化推進事業に参加している。													11.6 11.7		13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●											7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6					9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6							11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・社員に対してエコバックの携行によるレジ袋の使用削減を呼び掛けている。 ・顧客への商品運搬時には再生紙使用の紙袋を使用している。														12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●														9.4		11.2		13.1 13.3				
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●											7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2	

